

**2021 年度グローバルイノベーション研究院 戦略的研究チーム
【一般枠】・【若手枠】 公募要項**

1. 趣旨

本学は、食料、エネルギー、ライフサイエンス分野の3分野の研究を重点的に推進し、社会的要請の高い研究課題において先進的な研究成果を創出することを目指している。そこで、機能強化の取組み推進のために、研究特区として最先端研究を行うことのできる仕組みを構築することを目的として、戦略的研究チームの新規結成に対して研究期間3年間の支援を行う。ただし、研究成果を基にした審議により、支援期間が短くなる場合がある。

なお、以下の条件に適合する場合は、現在、戦略的研究チーム（既存チーム）に属している教員からの応募を可能とする。

- ・ 新チームのリーダーあるいは構成メンバーとして応募できる（既存チームのリーダーは除く）。
- ・ 応募にあたり、既存チームの承認を得ること。
- ・ 構成メンバーが新チームへ抜けた場合、計画内容に変更が生じるため、当該既存チームは、「2021年度戦略的研究チーム研究計画書」を再提出すること。
- ・ **3年を迎える既存チームのメンバーが新規提案する場合、既存チームからの単なる継続ではなく、本学教員、外国人研究者共に新たな構成メンバーとの新たな研究内容での提案であること。**

2. 提案条件

- ・ 世界的に活躍する著名な外国人を原則、連続して1ヶ月（31日）以上雇用する計画となっていること
- ・ 国際共著論文の増加が見込まれ、具体的な論文作成目標値を設定できること
なお、選考審査では受け入れ代表研究者及び外国人研究者におけるトムソン・ロイター社データベース（Web of Science（学術文献引用DB））による論文数、被引用数、平均被引用数、H-indexを用いて評価する。
- ・ チームにおいて若手研究者の育成が重視されていること。
- ・ 食料、エネルギー、ライフサイエンスのいずれかの分野における研究を推進するものであること。
- ・ 受け入れ研究者（チーム）の研究力があり、研究計画、研究場所、研究資金が充分であること。
- ・ 外国人研究者1名以上および本学教員（※1）の研究者により研究者体制を組むこと。
（※1）【一般枠】本学教員6名以内（受け入れ代表研究者1名を含む）
【若手枠】本学教員4名以内（受け入れ代表研究者1名を含む）
- ・ 戦略的研究チーム【若手枠】については、スーパー教授の雇用、招へいを必須としない。

3. 実施期間

本公募による戦略的研究チームの実施期間は最長3年間とする。ただし、研究成果をもとにした審議により、支援期間が短くなる場合がある。

4. 応募区分及び採択チーム数

重点3分野について 若干

※【若手枠】は、申請時（2021年4月1日現在）、本学教員の全員が47歳未満で構成されるチームとする。（外国人研究者を除く）

5. 応募方法及び提出期限

申請者は、別添様式[戦略的研究チーム提案書]により **2020年12月24日（木）17時**までに研究支援課（girjim@cc.tuat.ac.jp）あてに電子ファイルにより提出すること。

GIRとして新規に雇用・招へいする外国人研究者については、提案書と併せてCVを提出すること。

6. 経費計画

様式の「8. 経費計画」作成上の注意等に基づき記入すること。

※費用で最大の効果が得られるよう、費用対効果を踏まえた内容とすること。

※審査の結果、提案した金額から減額される可能性がある。

※外国人研究者招へいによる特筆すべき効果が見込まれる場合、予算枠を超過して申請することも可能とする。ただし、審査の結果、提案した金額から減額される可能性がある。

※2021年度外国人研究者の人件費・赴任旅費・研究経費

| 区分 | 人件費 | 赴任旅費 | 研究経費 |
|-----|---------------|---------------|-------------|
| 一般枠 | 4,000 千円/年 上限 | 2,500 千円/年 上限 | 500 千円/年 上限 |
| 若手枠 | 1,500 千円/年 上限 | 1,250 千円/年 上限 | 500 千円/年 上限 |

※滞在費は、GIR 負担とするため、本欄では計上不要である。

7. 審査基準

1) 提案内容の以下事項についての実現可能性等を審査する

- ①研究体制、内容に実現性があり、国際共著論文の増加が見込まれること
- ②研究内容が斬新であり、社会的にインパクトがあること
- ③若手研究者（博士課程学生を含む）の育成を重視していること
- ④世界的に活躍する著名な外国人研究者との共同研究であること
- ⑤外国人研究者の招へい・雇用がチームの研究力アップにどのように貢献するか、理解できるように明記されていること、及び、その効果を得るために十分な滞在期間が確保されていること

2) 受け入れ代表研究者及び外国人研究者における以下の指標をもとに審査する

- ①トムソン・ロイター社データベース（Web of Science（学術文献引用DB））による以下指標
論文数、被引用数、平均被引用数、H-index
- ②外部資金獲得実績

3) 新規提案書について、以下の項目を審査する。（各項目 20 点満点）

- ・外国人教員赴任計画
- ・チームの概要及び外国人研究者雇用による特筆すべき効果等
- ・外国人研究者及び受け入れ代表研究者の実績
- ・研究目的・研究計画・方法
- ・活動する年度に目標とする国際共著論文

8. 選考および決定

グローバルイノベーション研究院 運営委員会の審査を経て学長が決定する。

9. その他

本学に在籍する学生や若手研究者の育成を通じ、国際共同研究基盤の構築に向け、上記の経費とは別に、以下の海外支援事業等を行っている。

特任助教の採用

海外支援事業（派遣期間 3 か月程度、3 か月程度を上限）

対象者

- ・GIR 所属教員（※1）

※1 GIR の分野グループ、分野融合拠点、戦略的研究チームの本学構成教員、または兼務教員

- ・GIR 所属教員の指導を受ける博士（後期）課程の学生、または、本学の博士（後期）課程に進

学予定の博士前期課程及び修士課程の学生

- ・ GIR 所属教員が受入教員となるポスドク、研究員
- ・ GIR 特任助教

【担当・問い合わせ】

研究支援課研究推進室 GIR 支援係 内野・久富・小林・高原

内線 5646 Email: girjim@cc.tuat.ac.jp

GIR 戦略的研究チームに関する URL <https://www.tuat-global.jp/topics/tuat/4970/>